

はぐくむ保育バージョンアップのお知らせ (Ver.4.5.3.x から Ver.4.6.0.0)

WEB 連携機能・保育日誌個人記録編

令和 5 年 3 月

(株)はぐくむ保育

本書は WEB 連携機能を使用するにあたって、初めて**はぐくむ保育**の連絡帳（保育日誌・個人記録）をご使用になられる方を対象としています。

1.	組情報の確認	1
1.1.	概要	1
1.2.	組の設定変更	2
2.	保育日誌個人記録（連絡帳）の入力方法	3
2.1.	概要	3
2.2.	個人記録の入力（園児ごとの入力）	3
2.3.	個人記録の入力（項目ごとの入力）	6

1. 組情報の確認

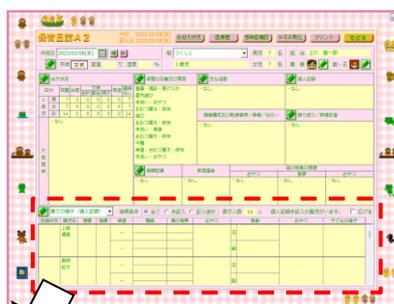
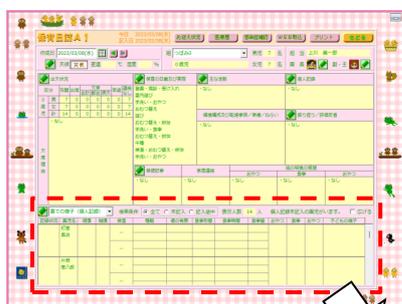
1.1. 概要

はぐくむ保育の連絡帳は、保育日誌の個人記録を基に作成されます。保育日誌の個人記録を使用する場合は、組の設定を乳児クラス用にする必要があります。現在の設定を確認し、乳児クラス用になっていない場合は設定を変更してください。

乳児クラス用の保育日誌は画面のタイトルが“保育日誌A 1”または“保育日誌A 2”となっています。また画面下部に個人記録が表示されています。

保育日誌A 1 (0歳児クラス用)

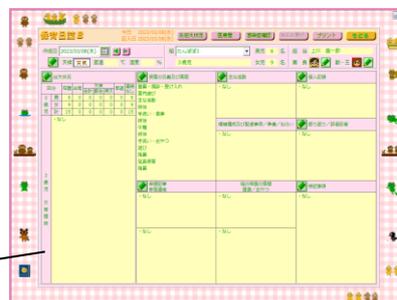
保育日誌A 2 (1、2歳児クラス用)



保育日誌B (幼児クラス用)

記録状況	園児名	健康	機嫌	快進	睡眠	便の有無
釘宮	長治			---		
片桐	恵八郎			---		

幼児クラス用には個人記録がありません。



※ 組の設定は [組登録] 画面でも確認できます。(詳細は次項)

1.2. 組の設定変更

【操作方法】

「組登録」をクリックします。

組の情報は年度ごとの設定になっています。
ここで対象の年度を確認してください。

翌年度の設定を変更する場合は、年度切替ボタン
(右向きボタン) をクリックします。

一覧の保育日誌欄で保育日誌の形式を確認できます。

設定を変更する場合は、一覧から変更する組を選択します。

保育日誌の形式を変更します。

クラスの食事時間を入力します。

「修正」ボタンをクリックします。

※ 0歳児クラスの場合は“保育日誌A1”を選択します。
1, 2歳児クラスの場合は“保育日誌A2”を選択します。

2. 保育日誌個人記録（連絡帳）の入力方法

2.1. 概要

保育日誌の個人記録を入力する方法は、園児ごとに入力する方法と、項目ごとに入力する方法の2つあります。

2.2. 個人記録の入力（園児ごとの入力）

【操作方法】

[各種日誌の記録] をクリックします。



〔保育日誌〕 ボタンをクリックします。

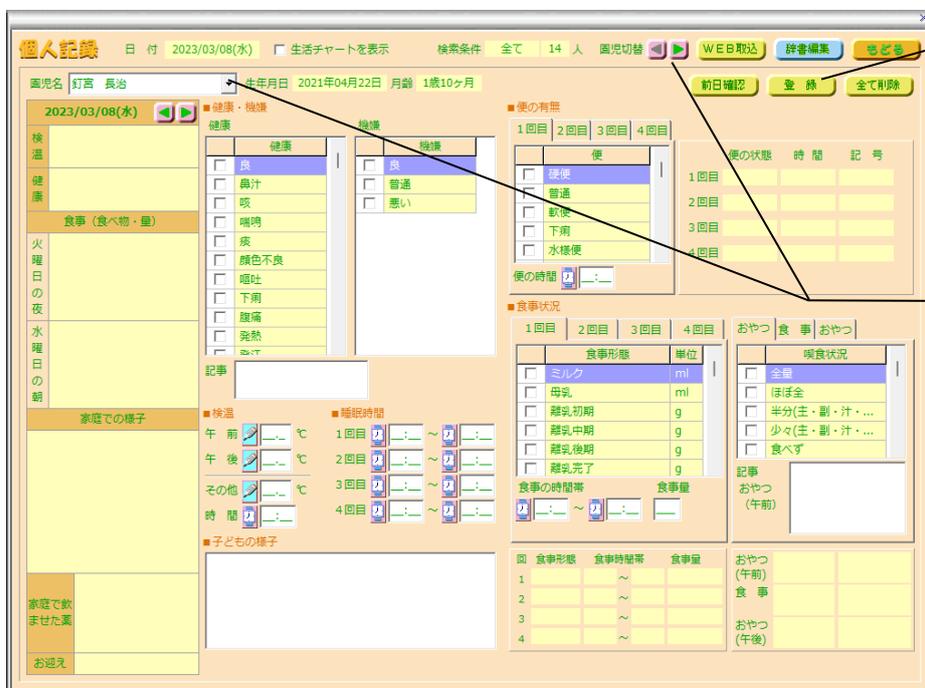


“園での様子 (個人記録)” が選択されていることを確認して鉛筆ボタンをクリックします。



画面には園児 1 人分の個人記録が表示されます。

“健康・機嫌” から“食事状況” までの各項目を入力したら、[登録] ボタンをクリックします。



園児 1 人分の登録が終わったら、次の園児の入力を行います。

次に入力する園児はリストから選ぶことができます。

園児切替ボタンをクリックして順番に入力することもできます。

- “食事状況”は 0 歳児用 (保育日誌 A 1) と 1、2 歳児用 (保育日誌 A 2) とで異なります。

0 歳児用



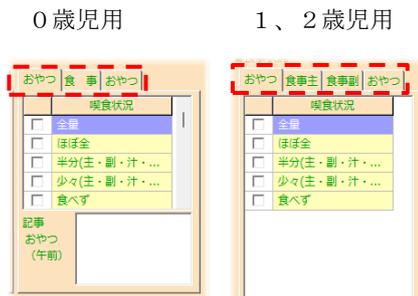
1、2 歳児用



- “便の有無”は 4 回分入力できるようになっています。タブを切り替えて入力します。“食事形態”、“食事時間”、“食事量”についても同様です。



- ・ おやつ (午前)、食事、おやつ (午後) の状況もタブを切り替えて入力します。



- ・ 一覧から選んで入力する形式の項目は、“健康” 以外は複数の選択はできません。



- ・ 一覧から選んで入力する形式の項目は辞書編集機能で項目の追加と削除ができます。



- ・ 「前日確認」 ボタンをクリックすると、直近の記録をコピーできます。



2.3. 個人記録の入力（項目ごとの入力）

【操作方法】

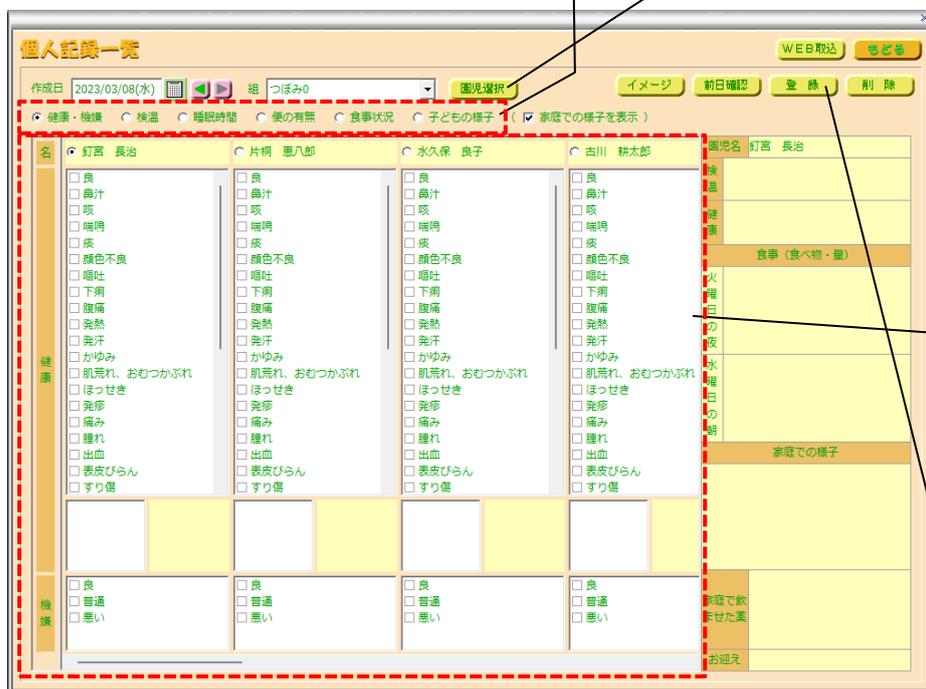
[各種日誌の記録] をクリックします。



画面を開いたら、入力項目選択→個人記録入力→登録→入力項目選択→個人記録入力→登録…という流れになります。

入力項目（健康・機嫌、検温、睡眠時間、便の有無、食事状況、子どもの様子）を選択します。

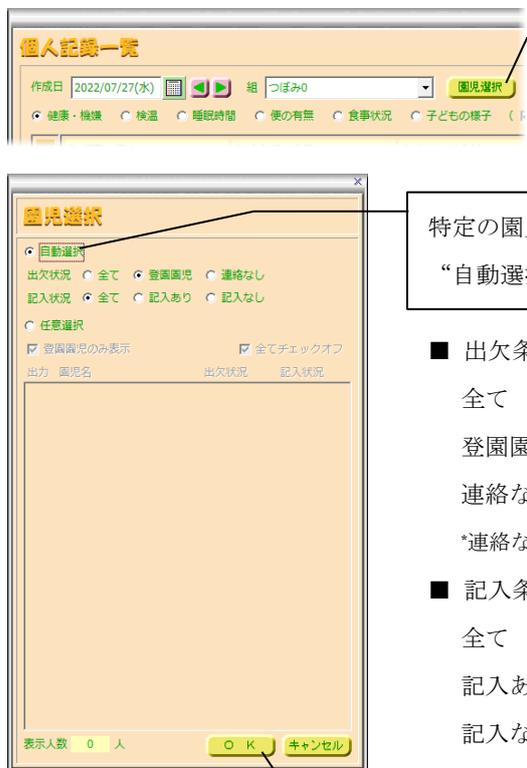
必要に応じて表示する（入力対象の）園児を選択します。画面表示時は登録園児のみが表示されています。



個人記録を入力します。

[登録] ボタンをクリックします。

画面表示時は登園園児のみが表示されますが、必要に応じて表示する園児を選択することができます。



[園児選択]ボタンをクリックします。

特定の園児ではなく、一定の条件に一致する園児を選択する場合は“自動選択”を選択し、条件を指定します。

■ 出欠条件

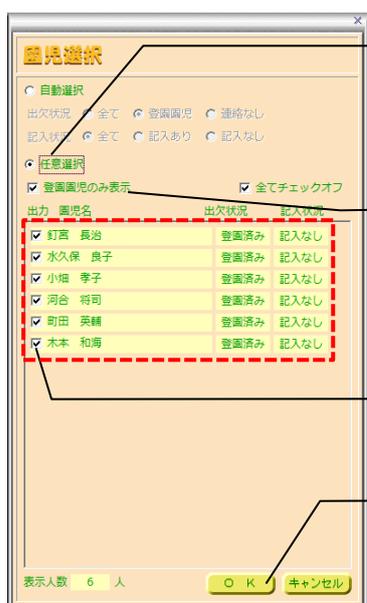
- 全て … 登園園児と連絡なしの園児*を表示
- 登園園児 … 登園園児のみ表示
- 連絡なし … 連絡なしの園児*のみ表示

*連絡なしの園児－登園時間も休みも登録されていない園児

■ 記入条件

- 全て … 記入状況に関わらず全ての園児を表示
- 記入あり … 選択している項目が記入済みの園児を表示
- 記入なし … 選択している項目が未記入の園児を表示。

[OK]ボタンをクリックします。 出欠条件と記入条件の両方に一致する園児が表示されます。



条件を指定せず特定の園児を選択する場合は“任意選択”を選択し、一覧表示される園児から特定の園児を選択します。

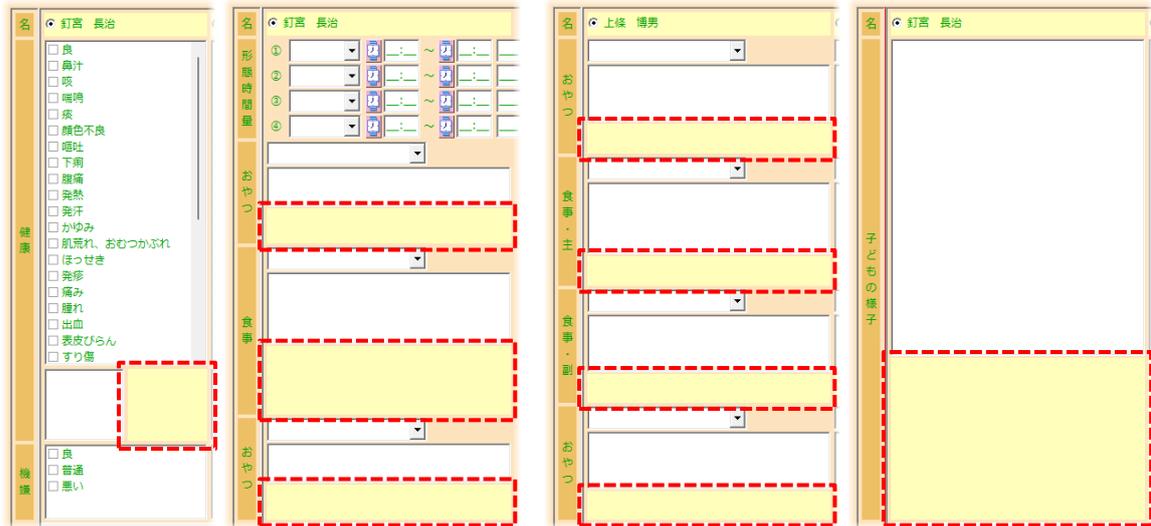
“任意選択”選択時は登園園児のみが一覧表示されるので、登園園児以外（連絡なしの園児）を選択する場合は“登園園児のみ表示”のチェック (☑) を外します。

園児を選択します。

[OK]ボタンをクリックします。

出力	園児名	出席状況	記入状況
<input checked="" type="checkbox"/>	灯高 長治	登園済み	記入なし
<input checked="" type="checkbox"/>	水久保 良子	登園済み	記入なし
<input checked="" type="checkbox"/>	小畑 孝子	登園済み	記入なし
<input checked="" type="checkbox"/>	河合 将司	登園済み	記入なし
<input checked="" type="checkbox"/>	向田 英輔	登園済み	記入なし
<input checked="" type="checkbox"/>	木本 和寿	登園済み	記入なし

フリー入力項目近くの読み取り専用欄（背景色が薄黄色の欄）には、登録時の入力チェックで文字数制限オーバーになった時に、現在入力されている内容が制限内でどこまで入力できるかが表示されます。



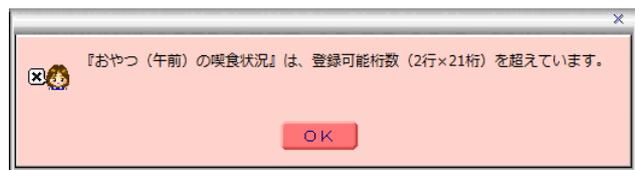
< 食事状況の場合の例 >



以下の通り入力したとすると…

全量
あいうえおかきくけこさしすせそたちつと
なにぬねのはひふへほまみむめもやゆよ
られるれろわをん

この状態で「登録」ボタンをクリックすると入力内容が文字数制限をオーバーした旨のエラーメッセージが表示されます。



全量：あいうえおかきくけこさしすせそたちつ
となにぬねのはひふへほまみむめもやゆよ

文字数制限内では「…もやゆよら」まで入力できることが分かります。

※ 食事状況の場合はリスト（“全量”、“ほぼ全”…）から選択された内容とフリー入力の内容を合わせた文字数でチェックが行われます。

【操作方法 (前日確認)】

前日確認で過去直近の記録をコピーすることができます。

〔前日確認〕 ボタンをクリックします。

画面に表示されている園児全員がコピーを行う対象となります。対象を限定する場合はボタンをクリックする前に園児選択を行ってください。

コピーする項目を選択して、〔前日確認〕 ボタンをクリックします。

コピーする項目が毎回決まっている場合は、“選択した項目を既定値にする”にチェック (☑) を付けてから [前日確認] ボタンをクリックします。

次回画面を表示した時に、“選択した項目を既定値にする”にチェックを付けてコピーした時の項目が選択されるので、同じ項目をコピーする場合はあらためて項目選択する必要がなくなります。

※ 毎回“選択した項目を…”にチェック (☑) を付ける必要はありません。

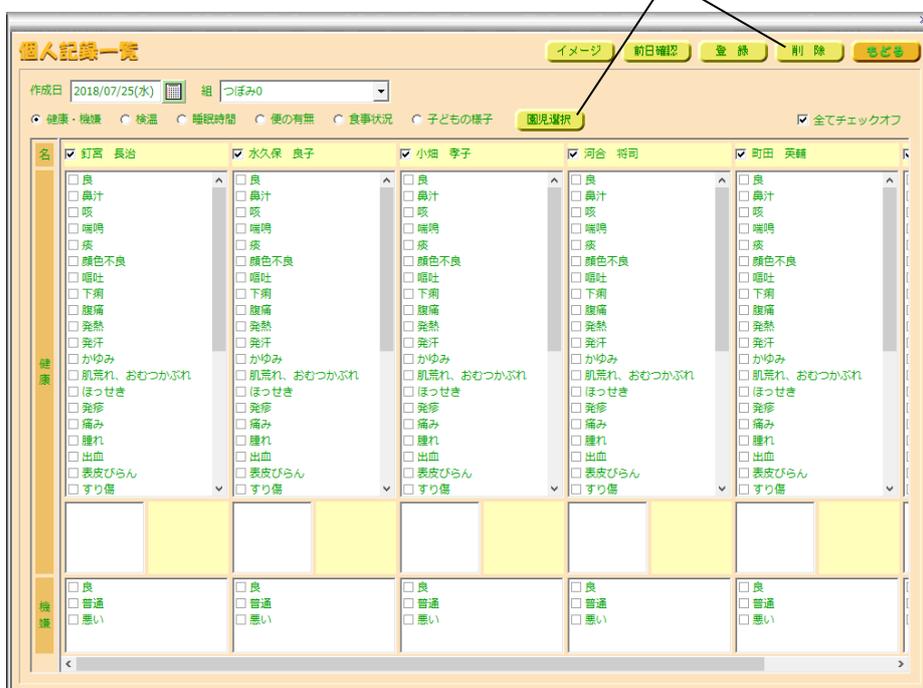


“選択した項目を…”にチェック (☑) を付けて前日確認(コピー)を行います。

次回画面表示時に前にコピーした項目が選択されます。

【操作方法 (削除)】

[削除] ボタンをクリックします。



画面に表示されている園児全員が削除対象となります。対象を限定する場合はボタンをクリックする前に園児選択を行ってください。

削除する項目を選択して、
[削除] ボタンをクリックします。

削除する項目が毎回決まっている場合は、“選択した項目を既定値にする”にチェック (☑) を付けてから [削除] ボタンをクリックします。

次回画面を表示した後、[既定値選択] ボタンをクリックすることでその項目が選択されます。

※ 毎回“選択した項目を…”にチェックを付ける必要はありません。

“選択した項目を…”にチェック (☑) を付けて削除します。

次回画面表示時は [既定値選択] ボタンをクリックします。

前回削除した項目が
選択されます。

(おわり)